

令和4年度(2022年度)第1回函館市地域包括支援センター運営協議会 会議録

- **開催日時** 令和4年(2022年)7月12日(火) 18:30~20:00
- **開催場所** 函館市役所8階 大会議室
- **会議内容**
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 地域密着型サービスの運営に関する事項
 - ア 地域密着型サービス事業者の指定等について・・・・・・・・・・資料1
 - (2) 地域包括支援センターの運営に関する事項
 - ア 第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について・・・・・・・・資料2
 - イ 令和4年度函館市地域包括支援センター体制について・・・・・・・・資料3
 - ウ 令和4年度函館市地域包括支援センター収支予算について・・・・・・・・資料4
 - エ 令和3年度(2021年度)函館市地域包括支援センター活動実績について・・・・・・・・・・資料5
参考資料1
 - オ 令和4年度函館市地域包括支援センター活動計画について・・・・資料6
参考資料2
 - 3 その他
 - 4 閉会
- **出席委員**(10名)
齋藤征人会長, 船橋優子副会長, 後藤琢委員, 川村曜補委員, 二本柳美夏委員, 渡部良仁委員, 工藤晃士委員, 張磨仁委員, 村田亮二委員, 高森秀雄委員
- **欠席委員**(1名)
柏原美之委員
- **地域包括支援センター**
あさひ 四戸管理責任者, こん中央 福島管理責任者, ときとう 長谷山管理責任者, ゆのかわ 京谷保健師, たかおか 松野管理責任者, 西堀 赤石主任介護支援専門員, 亀田 常野管理責任者, 神山 酒井管理責任者, よろこび 林センター長, 社協 高田管理責任者
- **傍 聴** 5名
- **報道機関** 1名(北海道新聞社)
- **事務局**
(高齢福祉課) 黒田課長, 辻主査, 中村主査, 石澤主査
(指導監査課) 渡辺主査
(地域包括ケア推進課) 支援体制: 小棚木課長, 岩島主査, 石黒主任, 山下主任技師
福祉拠点担当: 伊藤課長, 山岸主査, 米澤主査
- **会議要旨**
※の記載がある議事については, 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として会議時間を短縮するため, 事務局からの説明を一部省略した。

1 開会

2 議事

(1) 地域密着型サービスの運営に関する事項

ア 地域密着型サービス事業者の指定等について (※)

齋藤会長

地域密着型サービス事業者の指定等について、特に説明すべき事項があれば事務局から説明願いたい。

渡辺主査

(資料1「地域密着型サービス事業者の指定等について」に基づき説明)

齋藤会長

事務局の説明および資料1について、意見・質問等はないか。特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいるたい。

(2) 地域包括支援センターの運営に関する事項

ア 第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について (※)

齋藤会長

第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について、特に説明すべき事項があれば事務局から説明願いたい。

岩島主査

資料に記載のとおりであり、特に説明すべき事項はない。

齋藤会長

資料2について、意見・質問等はないか。特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいるたい。

イ 令和4年度函館市地域包括支援センター体制について (※)

齋藤会長

令和4年度函館市地域包括支援センター体制について、特に説明すべき事項があれば事務局から説明願いたい。

岩島主査

(資料3「令和4年度函館市地域包括支援センター体制について」に基づき説明)

齋藤会長

事務局の説明および資料3について、意見・質問等はないか。特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいるたい。

ウ 令和4年度函館市地域包括支援センター収支予算について（※）

齋藤会長

令和4年度函館市地域包括支援センター収支予算について、特に説明すべき事項があれば事務局から説明願いたい。

石黒主任

（資料4「令和4年度函館市地域包括支援センター収支予算について」に基づき説明）

齋藤会長

事務局の説明および資料4について、意見・質問等はないか。特にないようなので、協議会として意見がないということで、次にまいりたい。

エ 令和3年度函館市地域包括支援センター活動実績について

齋藤会長

令和3年度函館市地域包括支援センター活動実績について、事務局から説明願いたい。

岩島主査

（資料5「令和3年度函館市地域包括支援センター活動実績について」に基づき説明）

齋藤会長

事務局の説明および資料5について、意見・質問等はないか。

工藤委員

包括支援センターでは、商業施設へ行っての活動はしているのでしょうか。

岩島主査

コロナ禍前は、スーパー等を活用して相談会を開催した実績があるが、コロナ禍では相談会自体が行われていなかったように思う。しかし、商業施設に広報紙を持参し、見やすい場所に貼っていただくなどの工夫は、各センターで行っている。不足があれば包括支援センターに補足をお願いしたい。

包括支援センターゆのかわ 京谷氏

包括ゆのかわと包括神山が合同で、山の手生協と企画し『コープデー』に合わせて相談会を行い、パンフレット配布や声掛けをし、相談を受ける場面を設けるといったことがあったが、スペース確保やコロナ禍の問題もあり、中断している状況である。当時、『コープデー』でパンフレットを持ち帰り、それを見て電話したという問い合わせもあったので、もう一度、コロナ禍ではあるが実施できたらいいと思っている。

工藤委員

ラジオ、NCV等のメディアを使い、目や耳に入る機会が多くなると、プラスになる部分があると思う。

岩島主査

市としても、包括支援センターの周知として、ラジオ放送等を行っている。各包括支援センターにおいては、ホームページを開設し、高齢者の家族の目につくような形で工夫をしているが、さらにメディアを開拓していきたい。

齋藤会長

相談の対応状況等をみると、包括支援センターの存在が定着してきている傾向が見られると思うが、今いただいたアイデアを含めて、できるところを増やしていければと思う。また、新規の社会資源の開拓が数年前からよく話題に出ていたが、それよりも、コロナ禍で既存の活動ができないなど、既存のささえあい活動の基盤となるようなネットワークの構築ができにくくなっている状況があると思う。コロナ禍でできる活動に対するご助言はあるか。

二本柳委員

今だとインターネットが主流になるのかと思う。高齢の方でも、ネットで検索して見つけて電話が来ることもある。

齋藤会長

インターネットで情報を周知する工夫が出来たらいいのではないかというご助言であった。令和4年度の取り組みに対する期待はいかがか。

船橋副会長

若い方はインターネットでいいが、高齢者は顔を合わせて話すことが安心感につながるのので、各地域での活動に期待したいと思う。

齋藤会長

委員の皆さんからの意見を参考にしていきたい。

オ 令和4年度函館市地域包括支援センター活動計画について

齋藤会長

令和4年度函館市地域包括支援センター活動計画について、事務局から説明願いたい。

山下主任技師

(資料6「令和4年度函館市地域包括支援センター活動計画について」に基づき説明)

齋藤会長

事務局の説明および資料6について、意見・質問等はないか。

高森委員

コロナ禍で事業計画を立てるのは難しい現状があるとは思うが、感謝している。

こん中央の課題で、資料P5に取り組みとして懇談会の開催がある。P30で松川町会との意見交換を5回行っているとあるが、具体的にどのような懇談会が行われているのか聞きたい。

包括支援センターこん中央 福島氏

松川町会については、昨年は、最初は町会の2名の方との懇談会から始まり、そこから、地域活動が滞っているけれどどうにか続けたい、外に出て来れない高齢者がいたのでコンタクトを取りたいという課題が見えてきた。その後、町会だけではなく、在宅福祉委員や民生委員それぞれと懇談し、困りごとやアイデアが聞き取れた。それぞれがお互いに繋がっていないことが分かり、何を課題と考えているのかをお互いが知りあう機会を持った方が良いと考え、地域ケア会議で3者が合同で話し合う機会を設けた。そうしたところ、思いを共有でき、令和4年度に向け、こんな風にやっていたらいいねというところまで話し合うことができた。

高森委員

ご丁寧な説明ありがとうございました。回を重ねるにつれて関係者が増えていき、好ましい活動に見えた。町会の連携が減っている中で、このような取り組みを行い、函館市内の皆さんに伝えると、町会自身もまたやろうとか、町会での活動が分かると集まってくると思うので、是非皆さんに行っていっていただきたいと思う。よろしくお願いします。

齋藤会長

ありがとうございました。その他、意見・質問等はないか。播磨委員いかがか。

播磨委員

10センターそれぞれ方向性が違い、地域の課題にあった計画になっていると実感した。

包括亀田の『高齢者の子の世代が包括支援センターの役割を知ることができる』という地域課題に対し、4コマ漫画やオリジナルキャラクターの活用があったので、どのようなものか気になった。

齋藤会長

包括亀田から、工夫などについて共有することはあるか。

包括支援センター亀田 常野氏

センターでは、地域課題の整理から、広報紙をただ配布するのではなく、より関心を持っていただき、内容を見ていただくためにどうしたらいいか、センターの中で工夫する取り組みを行った。ひとつは、商業施設がとても大事で、広報紙の発行回数は減らしたが、配布部数と配布機関を増やす取り組みを行い、多くの機関に配布することを目指した。その結果、5年間で配布・設置機関が2倍になり、配布部数も2倍になった。その中でも、なかなか見ていただけないのではないかとということが悩みだったため、子供に関心を持ってもらい親の世代に繋げたり、高齢者以外の困りごと等についても周知したいという所から4コマ漫画が始まった。さらに発展させて、ちょっとしたクイズや間違い探し等を掲載し、手に取ってもらえる工夫をしているところである。もう一点は、地域ケア会議を活用する中で、小学校から広報紙を全生徒に配布したいという要望があった。生徒が広報紙を持ち帰ると親が広報紙を見てくれ、その親がもしかしたら親の介護をしているかもしれない、という風に繋がるのではないかと考えている。

播磨委員

広報紙は、なかなか手に取ってもらうことが難しい面があると感じているので、アイデアが素晴らしいと感心した。

齋藤会長

他はいかがか。大学では、学生に感染者が出て、課外活動・クラブ活動を一切禁止すると、大学では感染は広がらないが、ある程度コントロールできる中で、できることをやろうという考え方もあっていいのではないかと思っている。学生たちが自由にボランティア活動に行く機会は抑制せざるを得なくても、教員がコントロールした中でのフィールドワークは、やっていかなければならないと思っている。先ほどの、こん中央の取り組みを見ていて思うが、自主的なサークル・自主的な取り組みは難しい反面、包括という専門性を持った方々が、感染対策をしっかりとコントロールした中で集まりを持っていくことは、このような孤立しやすい状況だからこそ必要なのかなと思いつながりながら聞いていた。工夫することは大変だと思うが、今の2つの取り組みを聞きながら、各センターで参考にさせていただければと思った。

3 その他

齋藤会長

事務局、委員、センターから何かあるか。

福祉拠点担当 伊藤課長

(当日配布資料「自立相談支援機関の相談件数について」に基づき説明)

齋藤会長

ありがとうございました。その他、委員の皆様から何かあるか。

工藤委員

市への要望・意見を述べさせていただく。議題1「地域密着型サービス事業者の指定等について」に絡んでくる話になるが、地域密着に限らないが、サービス事業所の総量規制をするべきではないかということ。現状、市内のサービス事業所が利用者と職員を奪い合っている状況だと考えている。総量規制については、市の考えとしては、サービス事業所が多いことは、市民としては選択肢が多く良いことだと意見をいただいていた。ただ結局、職員不足の状況で、無資格の方を採用し、専門性がない中でどこまで教育・指導できるかもなかなか大変で、確実にサービスの質は下がると思う。それは市民にとっては不利益ではないか。経営母体の経営自体が安定できないと、職員の待遇が良くなり、職員の待遇を良くしないと人材不足はいつまでも解消されない。若い方は、なかなか福祉の世界に入ってこない状況で、職員の平均年齢が上がっている。そこを考えた時に、基本報酬を上げてほしいというのは現場の切なる願いではあるが、そこは国の考えもあり、函館市で規制を検討していただけないものかと思っている。今回、地域福祉課で介護人材の確保・定着に向けた実態調査を始めている。人材不足、人員不足が深刻な問題になっている中、新規事業所がどんどん増えるというのは、おかしいのではないかと思っている。昨日の役員会でも話し、役員全員共通の認識だった。実態調査の結果も参考に、検討していただきたい。

齋藤会長

すぐに即答できる内容ではないと思うが、コメントはあるか。

小棚木課長

サービス事業所の総量規制という観点でご提言いただいたが、議論をしようとする、高齢者計画策定推進委員会という別の機関がある。協議会の中で話があったということを申し伝えることはできる。

また、人材確保に関しては、人材がなぜ足りないかを突き詰めて言うと、若年層で介護職を目指す動機付けで、介護の仕事を好きになってもらうことからやっていると底上げができないのではないかという声が多くあり、なかなか介護の仕事に対する印象が厳しく、生活面の支えになる仕事であるという形に持ち上げていく方向や、なりたい人を増やすなどいろいろアプローチの方法はあると思うが、取り組んでいる所であり、ご理解いただきたい。

齋藤会長

別に協議機関があるということで、申し伝えていただきたい。また、地域福祉課で取り組んでいる調査もあるので、それも参考にしながら取り組みをご検討いただければということで、この協議会としては整理させていただきたい。

その他、委員の皆様から何かあるか。

事務局、委員、センター

特になし。

(閉会)